

**2022年 3月期**  
**第3 四半期決算説明資料**

2022年2月

株式会社アルマード

全社業績

1. 2022年3月期 第3四半期の業績進捗は、**引き続き順調**

- 売上高 1,665百万円（前年同期比 126%）
- 営業利益 404百万円（前年同期比 123%）
- 直販および外販事業好調に伴い、通期業績予想を上方修正

成長  
セグメント

2. 直販の顧客獲得数は引き続き好調で、今期累計は**過去最高数**

- 第3四半期も前年を大幅に上回る獲得を達成し、定期会員数も前年同期比で順調に成長
- 他主要指標である顧客獲得コストは、四半期単体ではやや悪化も、今期累計では前年比で大幅に良化

他事業  
トピック

3. 資本効率を高めるべく**株主還元**とバランスシートマネジメントに着手

- 株主還元として、配当と自己株式の取得に着手する
- バランスシートマネジメント強化により新たに設定した財務KPI目標を達成し、ROE50%超となる  
資本効率の高い経営に取り組む

## 全社業績

### 1. 2022年3月期 第3四半期の業績進捗は、**引き続き順調**

- 売上高 1,665百万円（前年同期比 126%）
- 営業利益 404百万円（前年同期比 123%）
- 直販および外販事業好調に伴い、通期業績予想を上方修正

## 成長 セグメント

### 2. 直販の顧客獲得数は引き続き好調で、今期累計は**過去最高数**

- 第3四半期も前年を大幅に上回る獲得を達成し、定期会員数も前年同期比で順調に成長
- 他主要指標である顧客獲得コストは、四半期単体ではやや悪化も、今期累計では前年比で大幅に良化

## 他事業 トピック

### 3. 資本効率を高めるべく**株主還元**とバランスシートマネジメントに着手

- 株主還元として、配当と自己株式の取得に着手する
- バランスシートマネジメント強化により新たに設定した財務KPI目標を達成し、ROE50%超となる資本効率の高い経営に取り組む

- 第1四半期、第2四半期に引き続き、第3四半期も前年実績を上回り、**増収増益**の着地
- 全社業績は、引き続き、直販、外販を軸に再成長基調が継続

(単位:百万円)

項目	3Q		前年同期比		1Q-3Q累計		前年同期比	
	前期	当期	差異	増減率	前期	当期	差異	増減率
売上高	1,317	1,665	348	126%	3,351	4,130	778	123%
売上総利益	797	1,015	217	127%	2,145	2,602	456	121%
販管費	468	610	142	130%	1,718	1,980	262	115%
営業利益	329	404	75	123%	427	621	193	145%
当期利益 (税後)	231	280	48	121%	294	432	137	147%

(単位:円)

EPS	23.1	27.8	4.7	120%	29.3	42.9	13.5	146%
-----	------	------	-----	------	------	------	------	------

## 全社業績：通期計画の進捗状況（全社および販路別）

- 通期計画に対する進捗も、**売上・利益**ともに計画に対して概ね**順調に進捗**
- TV通販は計画を下回るも、直販および外販事業が計画に対し順調に推移し、全社業績を牽引

(単位:百万円)

項目	22年3月期		進捗率	
	1Q-3Q累計	通期計画		
全社売上 ( a+b+c )	4,130	4,883	84.6%	好調
a. 直販 売上	1,540	1,730	89.0%	好調
b. TV通販 売上	1,092	1,480	73.8%	計画を下回る
c. 外販 売上	1,497	1,672	89.5%	好調
(外販 売上 + 受注残*)	1,880	1,672	112.4%	
営業利益	621	820	75.7%	概ね計画通り

\*受注残：OEM取引で、すでに生産受注済みで当期中の納品・売上計上が高い確度で見込める取引高

- 第3四半期終了時点において、当初計画を上回るペースでの売上進捗のため、**通期業績予想を上方修正**
- 営業利益以下については、中期経営計画達成のための事業投資を強化しているため、予想を据え置き

(単位:百万円)

項目	22.3期 通期業績 予想		修正の程度	
	修正前	修正後	増減額	増減率
売上高	4,883	<b>5,300</b>	+417	+9%
売上総利益	3,021	<b>3,280</b>	+259	+9%
営業利益	820	<b>820</b>	± 0	---
当期利益 (税後)	556	<b>556</b>	± 0	---

---

(単位:円)

EPS	55.3	<b>55.3</b>	± 0	---
-----	------	-------------	-----	-----

全社業績

## 1. 2022年3月期 第3四半期の業績進捗は、引き続き順調

- 売上高 1,665百万円（前年同期比 126%）
- 営業利益 404百万円（前年同期比 123%）
- 直販および外販事業好調に伴い、通期業績予想を上方修正

成長  
セグメント

## 2. 直販の顧客獲得数は引き続き好調で、今期累計は**過去最高数**

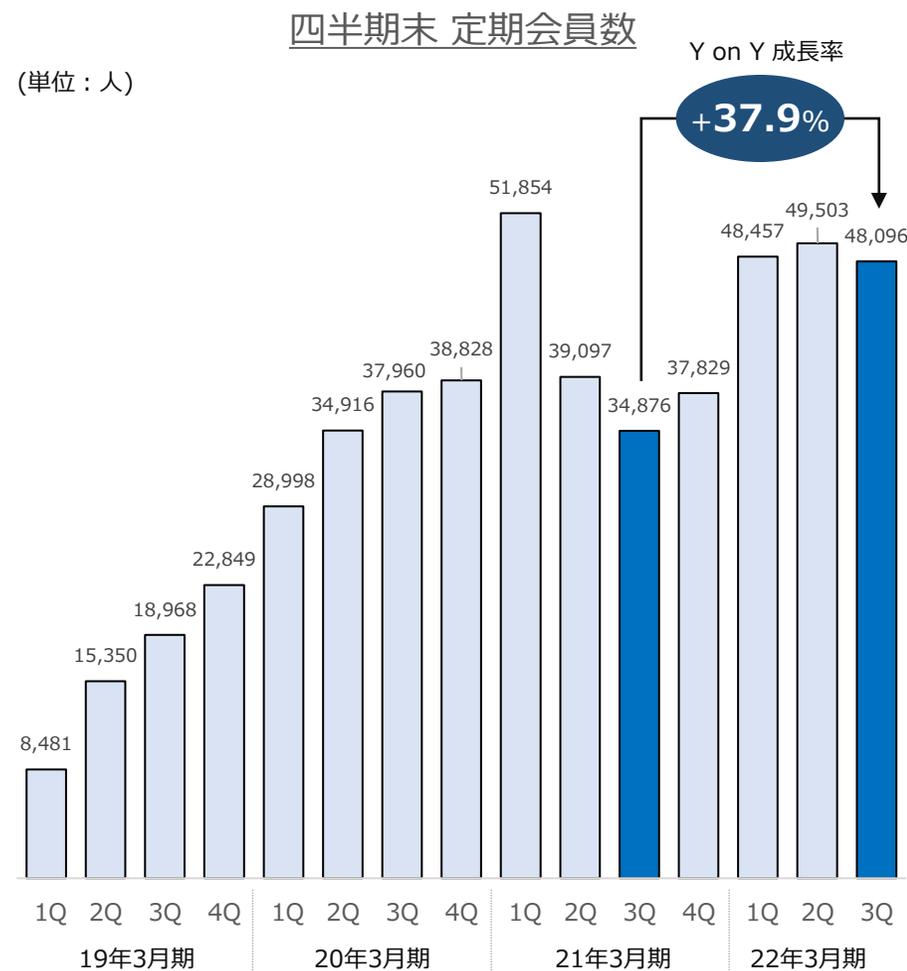
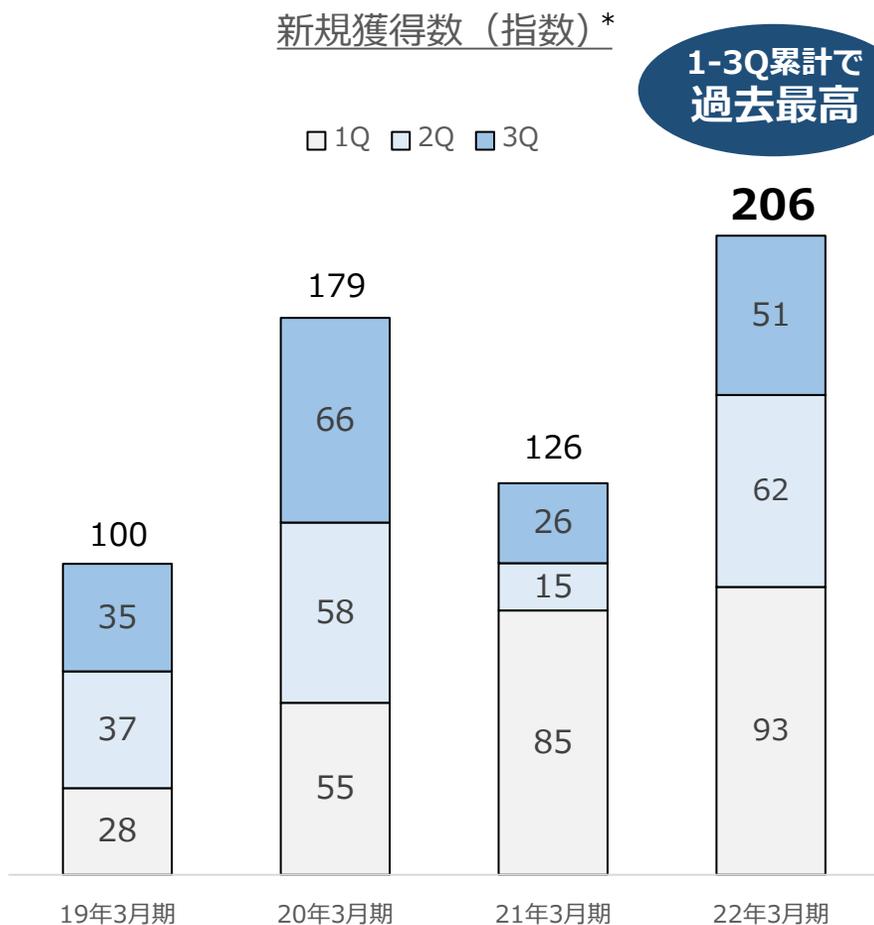
- 第3四半期も前年を大幅に上回る獲得を達成し、定期会員数も前年同期比で順調に成長
- 他主要指標である顧客獲得コストは、四半期単体ではやや悪化も、今期累計では前年比で大幅に良化

他事業  
トピック

## 3. 資本効率を高めるべく**株主還元**とバランスシートマネジメントに着手

- 株主還元として、配当と自己株式の取得に着手する
- バランスシートマネジメント強化により新たに設定した財務KPI目標を達成し、ROE50%超となる資本効率の高い経営に取り組む

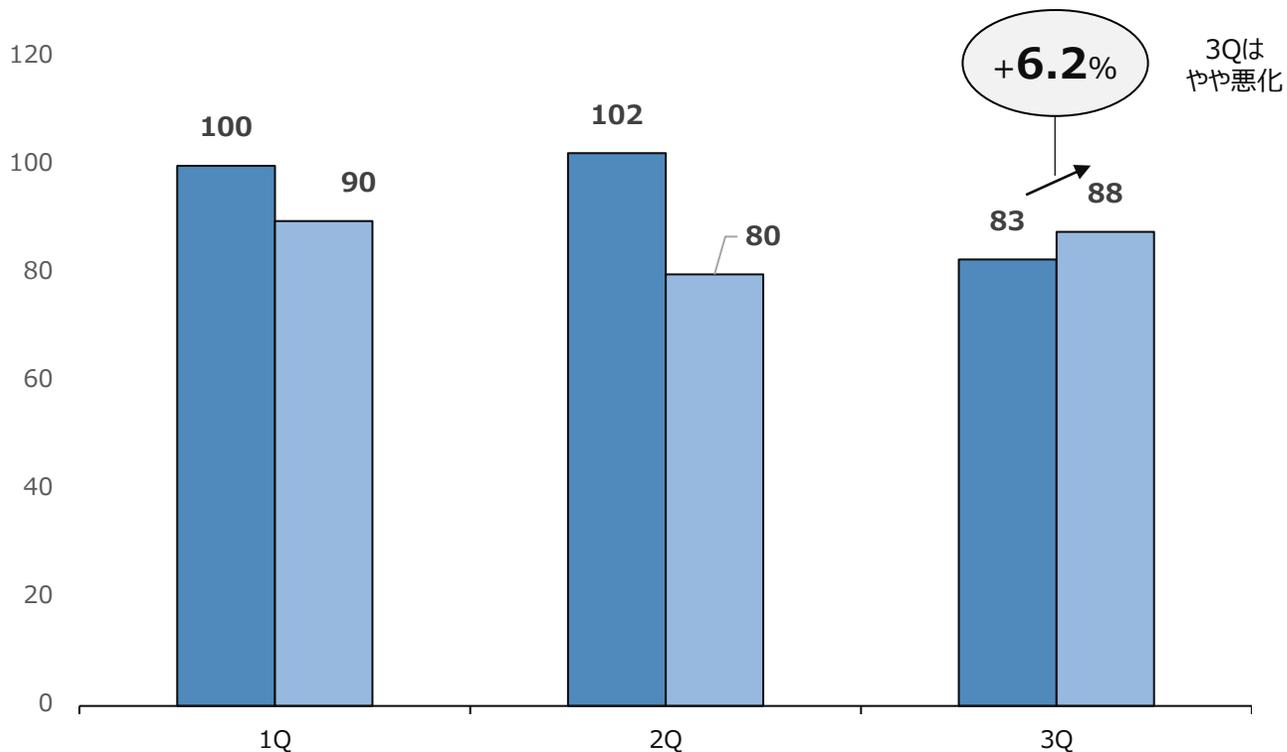
- 第3四半期の新規獲得数は前期比で大幅増、かつ、今期累計では引き続き**過去最高の獲得数**で推移
- 定期会員数も対前年同四半期比で+37.9%で着地し、拡大基調を維持



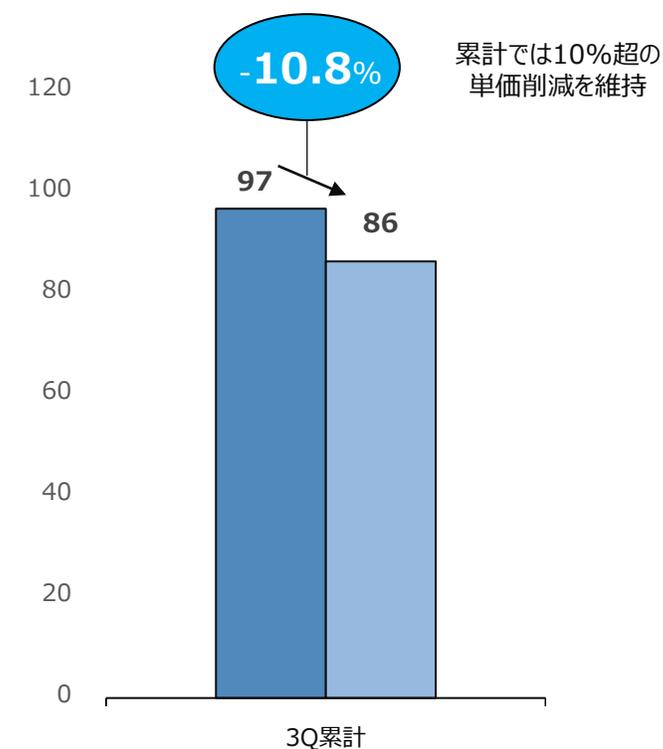
\*指数: 19年3月期1-3Qの累計新規顧客獲得人数を100とした時の相対値

- 第3四半期単体では、新商品の美白美容液の広告費等により、前年同期比で顧客獲得単価(=CPA)がやや悪化
- 今期累計では、10%超の単価削減を維持

2022年3月期 四半期CPA 前年比 (指数)\*



累計CPA 前年比 (指数)\*



\*指数：21年3月期1QのCPAを100とした時の相対値

全社業績

## 1. 2022年3月期 第3四半期の業績進捗は、引き続き順調

- 売上高 1,665百万円（前年同期比 126%）
- 営業利益 404百万円（前年同期比 123%）
- 直販および外販事業好調に伴い、通期業績予想を上方修正

成長  
セグメント

## 2. 直販の顧客獲得数は引き続き好調で、今期累計は過去最高数

- 第3四半期も前年を大幅に上回る獲得を達成し、定期会員数も前年同期比で順調に成長
- 他主要指標である顧客獲得コストは、四半期単体ではやや悪化も、今期累計では前年比で大幅に良化

他事業  
トピック

## 3. 資本効率を高めるべく株主還元とバランスシートマネジメントに着手

- 株主還元として、配当と自己株式の取得に着手する
- バランスシートマネジメント強化により新たに設定した財務KPI目標を達成し、ROE50%超となる資本効率の高い経営に取り組む

- 中期計画遂行に必要な資金を上回る現預金残高があり、かつ、今後も現預金を上積みされる見通しのため、配当、および、自己株式取得による株主還元を実施する予定
- 資本効率の高い経営を追求するべく、バランスシートマネジメントを強化していく

### 利益処分の基本方針

- 持続的な成長のための投資原資、手元流動性の確保が第一優先
- 上記を経て、余剰キャッシュは株主へ分配

としているが、

### バランスシートの現状

- 中期経営計画の活動資金はすでに確保
  - 余剰キャッシュは十分あり
  - 今後も余剰キャッシュが生まれる

### < 株主還元の実行 >

- 1** 1株あたり40円/年の配当の実施予定  
(22.3期)
- 2** 75%超の配当性向で利益処分を予定  
(23.3期～24.3期)
- 3** 配当考慮後の余剰現金で、自己株式の取得  
を実行予定（消却、および、株式報酬に）

### < BSマネジメント強化 >

財務KPIの設定（※次ページ以降）

- 財務健全性は高い一方で、現状は資産・資本効率の面で大幅に改善余地が残されている
- 今後は、資産のスリム化、および、資本構成の最適化の2つの視点で継続的に効率的経営を追求していく

## 徹底1. 資産のスリム化

資産規模を最適に維持・管理し、資産回転率を向上させる

### 課題1

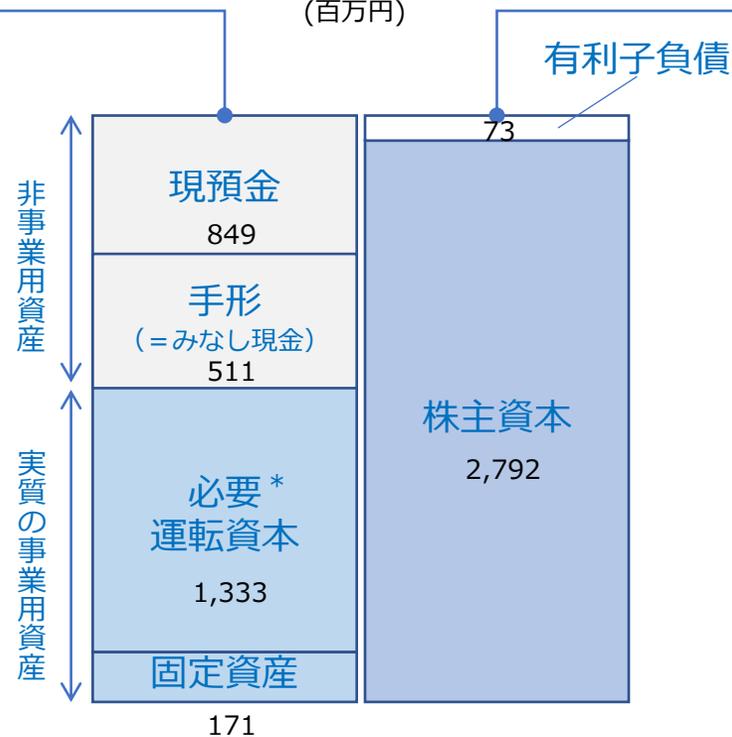
手形も含めると47%の現金同等物が蓄積。非事業用資産とみなせる部分が大きく、株主還元の原資

### 課題2

必要運転資本額も類似企業と比較して合理化、改善余地あり

## 要約バランスシート\* (22.3期 12月)

(百万円)



## 徹底2. 資本構成の最適化

財務健全性を保ちながら、より小さい自己資本で利益を創出するようD/E比率を調整する

### 課題3

ほぼ自己資本による資金調達になっており、類似企業と比較して大幅な他人資本の活用による合理化余地あり

当面の目標はD/E比率100%

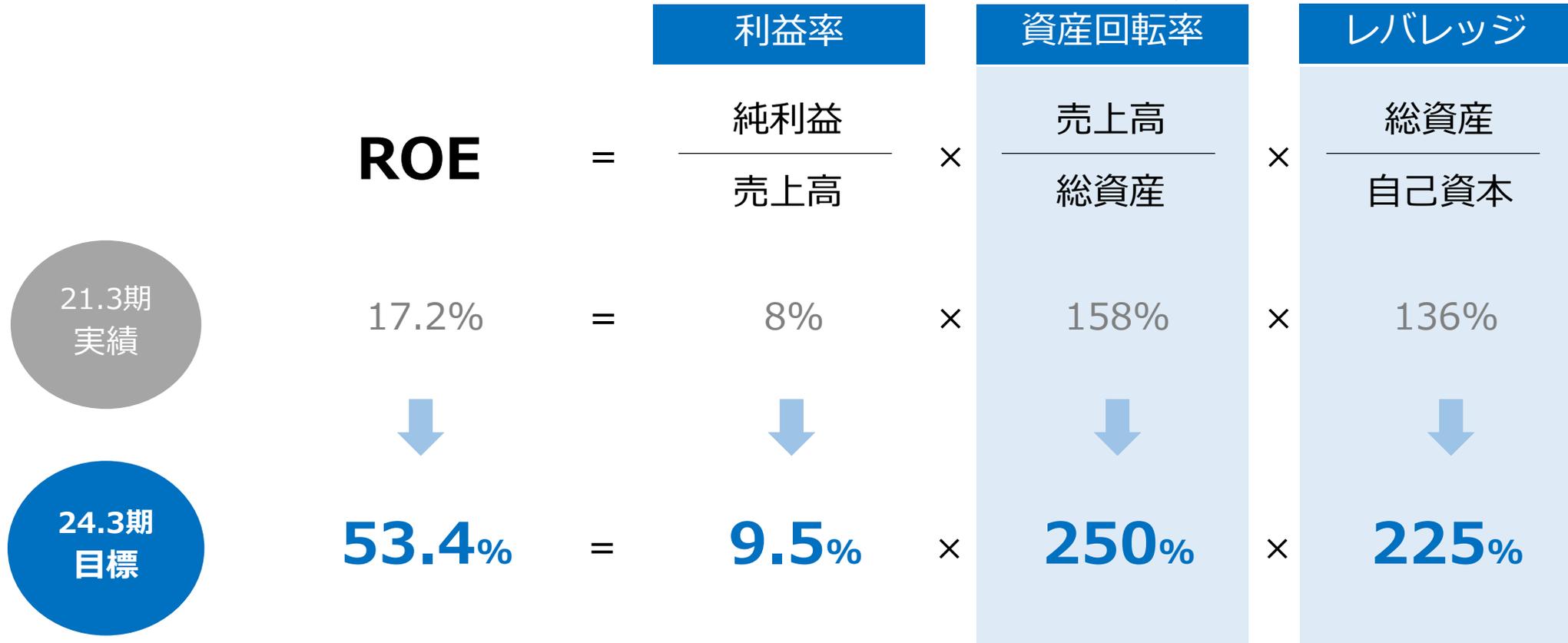
\*要約バランスシート：貸借対照表のうち、運転資本である売掛金・在庫等から買掛金等を差し引いた残存分のみを必要運転資本として資産の部に計上しているもの

\*必要運転資本：売掛金・在庫等から買掛金等を差し引いた運転資本の額（≒事業運営のために資金手当てが必要な資産）

- バランスシートマネジメントとして、資産回転率、および、レバレッジの改善に着手する
- これにより、24年3月期終了時点でのROEが50%超の水準となることを目指す

## 中期経営計画における財務KPI

バランスシートマネジメントによる改善対象



## Appendix

- 直販、外販での販売が好調で、引き続き**増収増益**で進捗している

(単位：百万円)

	3Q		前年同期比		1Q-3Q累計		前年同期比	
	前期	当期	差異	増減率	前期	当期	差異	増減率
売上高	1,317	1,665	348	126%	3,351	4,130	778	123%
売上原価	519	650	130	125%	1,206	1,528	322	127%
売上総利益	797	1,015	217	127%	2,145	2,602	456	121%
販売費及び一般管理費	468	610	142	130%	1,718	1,980	262	115%
人件費	96	100	4	105%	281	299	17	106%
販促費	192	297	105	155%	852	1,033	180	121%
物流費	79	105	25	132%	268	320	51	119%
営業利益	329	404	75	123%	427	621	193	145%
経常利益	337	406	68	120%	435	624	188	143%
当期純利益	231	280	48	121%	294	432	137	147%
1株当たり当期純利益（円）	23.1	27.8	4.7	120%	29.3	42.9	13.5	146%

- 流動比率や自己資本比率など、財務安全性に関する指標は引き続き良好

(単位：百万円)

	2021年3月末	2021年12月末	差異	増減率
流動資産	2,787	3,473	686	124.6%
現金及び預金	1,133	849	-283	74.9%
固定資産	197	171	-25	86.8%
総資産	2,984	3,645	660	122.1%
負債合計	667	852	185	127.7%
流動負債	640	821	180	128.3%
固定負債	27	31	4	115.2%
純資産（株主資本）	2,317	2,792	475	120.5%
流動比率	435.2%	422.9%	-12.3pt	-
自己資本比率	77.6%	76.6%	-1.0pt	-

本資料は、当社に関する情報提供を目的としたものであり、国内外を問わず、いかなる有価証券、金融商品または取引に関する募集、投資の勧誘または売買の推奨を目的としたものではありません。本資料は、金融商品取引法またはその他の法令もしくは諸規則に基づく開示書類ではありません。投資のご検討にあたっては、投資家の皆様ご自身の判断で行うようお願いいたします。

本資料には、当社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記載が含まれています。これらは、当社が本資料作成時点において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記載は、一定の前提および仮定に基づいており、また、当社の経営陣の判断または主観的な予想を含むものであり、国内外の経済状況の変化、市場環境の変化、社会情勢の変化、他社の動向等の様々なリスクおよび不確実性により、将来において不正確であることが判明または将来において実現しないことがあります。したがって、当社の実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。

本資料への掲載にあたっては万全を期しておりますが、その内容の正確性、完全性および確実性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

世界の人々の人生に**健康と美しさ**をもたらす  
**卵殻膜**と**バイオテクノロジー**で

ALMADO